

令和 7 年度 第 2 回 高松市地域部活動検討委員会について

教育局保健体育課

1

報告事項 1

1 開催概要

1、開催日時

令和 7 年 1 0 月 2 7 日（月） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 5 0

2、議事等

- ・ 国の動向について（報告）
- ・ 「高松市地域クラブ活動基本方針（案）」について

2

(1) 国の動向について（報告）

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」

【開催状況】第1回（R6.8.23）～第4回（R7.5.16）

- 【検討事項】（1） 地域クラブ活動への移行に係る課題の整理・解決策について
 （2） 令和8年度以降の地域クラブ活動への支援方策等について
 （3） ガイドラインの見直しの論点整理について

【報告等】（R6.12.18）中間とりまとめ （R7.5.16）最終とりまとめ

「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進等に関する調査研究協力者会議」

【開催状況】第1回（R7.6.30）～第7回（R7.10.9）

- 【検討事項】（1） 地域クラブ活動の要件及び認定方法について（参考資料p1～p9）
 （2） 地域クラブ活動に係る費用負担の在り方について（参考資料p12～p15）
 →令和7年秋～冬に全体像の取りまとめ
 （3） 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的な
 ガイドラインの見直しについて（参考資料p10～p11）
 →令和7.9月から検討中

3

(2) 高松市地域クラブ活動基本方針（案）について

●主な意見

・国の認定要件にもあるように、地域クラブは、学校と決して切り離したものではなく、学校と地域クラブが「どういう情報共有をしていくのか」、「どういう連携を作っていくのか」ということを丁寧に作っていかないと、残念な状況になる。

・周知するときに、「学校教育から社会教育になる」「放課後が切り離される」というのが独り歩きして、実際はそうではないというところを、教員にもわかってもらわないといけないし、社会にもわかっていただかなければならない。うまく連携を図りながら、周知をしていかないといけない。

・トップレベルを目指すクラブチームではなく、学校生活の中で、スポーツ・文化活動に一生懸命取り組みながら、自分たちの生活を充実させようとしている生徒が、地域クラブのターゲットになってくるのではないだろうか。

・文化部について、学校によって天文部や茶道部があったり、サイエンス部みたいな探究部があったり特色がある。運動部に入らない生徒の受け皿の意味もあるし、文化・芸術を広げようという意味でやっているところの部分が持続可能かというところを考えていく必要があるのではないか。

4

(2) 高松市地域クラブ活動基本方針（案）について

・地域クラブを誰がどう作るのかという方針を出していないと、前に進んで行かないのではないか。

・認定クラブを作っていかななくてはならないが、新しくクラブを立ち上げるというのではなく、例えばスポーツ少年団の活動実績があるところをお願いして連携をしてつながっていく形が一番スムーズではないか。

・部活動がなくなって地域移行するのであれば、「安心・安全」、「お金」、「労力」が保障されていること。これは文化部もスポーツも関係ない。

・本当に挑戦したい子や、やってみたいになっていう子を誰一人取り残してほしくない。あらゆる機会、あらゆるチャンネルにアクセスして、制度設計してほしい。

・中体連の大会運営は、教員が中心となってやっている。部活動がなくなると、どのように関わっていくかということも、検討材料になってくる。

・地域のコミュニティ協議会や地域の体育協会、スポーツ推進委員との連携を密にするのは、非常に地域のことが分かって有効な施策だと考えられる。

・小学校の子どもたちは部活動にとっても期待をしている。部活動で進学校を決めるということも多くある。せっかく行ったのに、その学校にやりたい部活動がないのであれば、他のところを選びたいという子どもたちもいる。今の小学校5年生、6年生というのはすごく関わらと思うので、小学校の方にもこういう方針になったということを周知していただきたい。

・教員が異動しても持続可能な運営ができるように取り組んでほしい。

報告事項 2

令和7年度「小学生ミニ・ビブリオバトル および 中学生ビブリオバトル～高松の陣～」の開催について

教育局中央図書館

6

報告事項 2

1 開催概要

(1) 名 称

令和7年度 小学生ミニ・ビブリオバトル ～高松の陣～
令和7年度 中学生ビブリオバトル ～高松の陣～

(2) 趣 旨

読書離れが進む傾向にある子どもたちの読書活動を推進するため、
楽しみながら本と出会う機会を提供します。

(3) 日 時

令和7年12月7日(日)【小学生】午前10時～午前11時30分
【中学生】午後1時～午後2時50分

(4) 場 所

高松市こども未来館 1階 多目的室1・2 (高松市松島町一丁目15-1)

(5) 対 象

高松市内の小学校に通う児童(4～6年生)
高松市内の中学校に通う生徒

7

2 ビブリオバトルとは

ビブリオバトルとは、発表者がおすすめの本を1冊持ち寄り、本の魅力を紹介し合う“知的書評合戦”です。

今年度より、小学4～6年生向けに発表時間を短縮した**ミニ・ビブリオバトル**も開催します。

本が大好きな小・中学生の熱いバトルを、ご覧ください！

3 当日の進め方

知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト 公式ルールより引用

- ① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる
- ② 順番に1人**5分間**で本を紹介する ※ミニ・ビブリオバトルでは、本の紹介時間を**3分間**で行う
- ③ それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2分間行う
- ④ 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする

8

4 観覧について

観覧の事前申込みは不要です。直接会場へお越しください。

途中の出入りは自由ですが、チャンプ本の投票に参加できるのはすべての発表を観覧された方のみとなります。

観覧者の方も、各発表後のディスカッション（質問タイム）に参加いただけますので、聞きたくなったことを気軽に質問してください。

※今年度から、一番多く質問をして会場を盛り上げてくださった方に「グッド質問賞」として、記念品をお渡しします！

小・中学生の熱いバトルをぜひご覧ください！

9